

重要な構成要素「大和家」^{やまとや}

建築：主屋 昭和初年以前

参道の景観を構成する要素

「大和家」は、店内で天井・天ぷらをいただけるほか、店頭で柴又の歴史ある名物「草団子」^{だんご}の販売を行う木造平屋建て（一部木造２階建て）の店舗です。

参道に面して昭和以前に建てられた主屋があり、その後方に接続して 1972（昭和 47）年頃に増築された二階建て付属屋、さらに奥に 2000（平成 12）年頃に新たに建てられた住居からなります。

大正末から昭和初期に現在地に移り、天ぷらのほか菓子やすしを商っていました。下屋と庇が増設される以前のかつてのまちなみをしのばせます。

参道側は、冬でも開け放たれ、開放的な店構えとなっており、奥には小上がりの座敷があります。